

令和6年2月25日発行
 発行/宇佐市議会
 直通:0978-32-2328
 Fax:0978-32-1437

宇佐市議会



宇佐神宮に新・大鳥居

宇佐神宮に高さ11メートル、柱間7メートルの大鳥居が昨年11月に完成し、新たなシンボルとして令和6年の初詣客で賑わいました。正月三が日の参拝者数はおおよそ35万人で令和元年の50万人を下回りましたが、コロナ禍での30万人からは増加傾向にあります。また、令和7年には、御鎮座1300年・勅祭記念行事も控えており、これまでの境内整備事業として、平成28年の亀山神社から昨年の呉橋の屋根葺替工事まで14ヶ所の整備が実施済みで、来年には西大門の解体修理工事および勅使門東西回廊屋根葺替工事が完成予定です。すでに本市では官民協働のもと、歴史と緑が調和した景観を形成する勅使街道と横町通りを軸とした街並み環境整備事業を令和3年に完成しています。新しく生まれ変わる宇佐神宮に市民が誇りを持ち、1300年の歴史と伝統を永々と守り伝え、世界中から多くの皆様が訪れていただけることを心から祈念いたします。

(和気 伸哉)

1 2月定例会 一般会計補正予算(6・7号)・特別会計補正予算を可決

スマホも対応!

議会ホームページ

宇佐市議会 検索

《目次》

- 1 2月定例会の概要・議会の審議結果…………… P. 2～3
- 1 2月定例会の一般質問及び決算特別委員会…………… P. 3～11
- 新年のあいさつ…………… P. 12



12月定例会の概要

令和5年12月第6回定例会が、11月28日から12月20日までの23日間の会期で開かれまして。市長から提出された議案32件(予算案6件、条例案16件、人事案1件、その他議決案9件)を原案のとおり可決・同意しました。
また、閉会中の継続審査となっていた請願1件を不採択とし、意見書案を原案のとおり可決しました。

〔人事案〕

宇佐市固定資産評価審査委員会委員

貞永 憲佑 氏

〔本会議第1日〕(11/28)

① 議案等の上程及び説明

② 継続審査、調査となっていた付託事件の報告の後、質疑・討論・採決

〔本会議第2日〕(12/5)

① 追加議案の上程及び説明

② 一般質問

〔本会議第3～5日〕(12/6～8)

① 一般質問

〔本会議第6日〕(12/12)

① 議案質疑 ② 議案等の委員会付託

〔本会議第7日〕(12/20)

① 委員会の審査報告と質疑・討論・採決
② 追加議案(人事案)の上程、質疑・討論・採決

③ 意見書案の上程、質疑・討論・採決

④ 閉会中の継続審査及び調査

令和5年12月第6回定例会の議決結果

(※印は全会一致でない議決)

○議案

番号	件名	付託委員会	結果
議第67号	令和5年度宇佐市一般会計補正予算(第6号)	各常任委員会	原案可決
議第68号	令和5年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	//
議第69号	令和5年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第2号)	//	//
議第70号	令和5年度宇佐市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	//
議第71号	令和5年度宇佐市下水道事業会計補正予算(第2号)	//	//
議第72号	宇佐市駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定について	//	//
議第73号	宇佐市支所及び出張所設置条例の一部改正について	総務	//
議第74号	宇佐市安心院B&G海洋センター条例の一部改正について	産業建設	//
議第75号	宇佐市国民健康保険税条例の一部改正について	文教福祉	//
議第76号	宇佐市工場等設置促進条例の一部改正について	産業建設	//
議第77号	宇佐市農業者トレーニングセンター条例の一部改正について	//	//
議第78号	宇佐市宮駅前駐車場条例の一部改正について	//	//
議第79号	宇佐市火災予防条例の一部改正について	総務	//
議第80号	宇佐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	文教福祉	//※
議第81号	宇佐市立幼稚園条例の廃止について	//	//
議第82号	宇佐市立学校及び市立幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正について	//	//
議第83号	工事請負契約の締結について	総務	//
議第84号	訴えの提起について	産業建設	//
議第85号	宇佐市過疎地域持続的発展計画の一部変更について	総務	//
議第86号	指定管理者の指定について(家族旅行村内宇佐市地域食材供給施設)	産業建設	//
議第87号	指定管理者の指定について(宇佐市農業者トレーニングセンター)	//	//
議第88号	指定管理者の指定について(宇佐市白宇津球場)	//	//
議第89号	指定管理者の指定について(宇佐市総合運動場)	//	//
議第90号	指定管理者の指定について(宇佐市平成令和の森スポーツ公園)	//	//
議第91号	市道路線の認定について	//	//
議第92号	令和5年度宇佐市一般会計補正予算(第7号)	各常任委員会	//
議第93号	宇佐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務	//
議第94号	宇佐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	//	//※

議第 95 号	宇佐市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正について	//	// ※
議第 96 号	宇佐市職員の給与に関する条例の一部改正について	//	//
議第 97 号	宇佐市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	//	//
議第 98 号	宇佐市固定資産評価審査委員会委員の選任について	省 略	原案同意

○閉会中の継続審査となっていた議案 (※印は全会一致でない議決)

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第 60 号	令和 4 年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	原案認定※
議第 61 号	令和 4 年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	// ※
議第 62 号	令和 4 年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	//	// ※
議第 63 号	令和 4 年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	//	// ※

○閉会中の継続審査となっていた請願書 (※印は全会一致でない議決)

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第 5 号	国に「旧統一教会」の解散命令請求と被害者救済を求める意見書提出の請願	総 務	不採択※

○意見書案

番 号	件 名	付託委員会	結 果
意見書案第 6 号	インボイス制度導入後に大きく影響を受けている事業者に対する制度の見直しを求める意見書	省 略	原案可決

○全会一致でなかった採決結果

議 案 番 号	秀平信介	園田経人	川谷正一	水脇純一	河野洋一	岡部輝明	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	中本 毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	衛藤義弘	辛島光司	今石靖代	大隈尚人	中村明美	衛藤博幸	永松 郁	
議第 60 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	除斥	○	×	○	○	○	○	議長
議第 61 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	除斥	○	×	○	○	○	○	議長
議第 62 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	除斥	○	×	○	○	○	○	議長
議第 63 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	除斥	○	×	○	○	○	○	議長
請願第 5 号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	議長
議第 80 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
議第 94 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
議第 95 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長

原案に賛成：○ 原案に反対：× 除斥：除斥（監査委員のため） 欠席：欠

さくら猫プロジェクト



今石靖代（日本共産党）

問① 学童問題のその後。
 (1) 市内の児童クラブで運営費が横領・着服された件について、実地調査の結果はどうか。
答 あるクラブの収支報告で、不適切な支出が合計16万4162円に上った。事実が判明した部分については、本人が認め現金を返還した。他年度も不適切支出の疑いがあり、調査をしていく。
 (2) 県は、2020年3月に「児童クラブ運営主体強化について」報告書を公表して改善策を求めている。市の取り組み状況は。
答 コロナ禍であり、取り組みが難しい状況があったが、県の事業を活用して、社労士のコーディネーター派遣を行っている。児童クラブは立ち上げた経緯から、会計上甘くなっていた反省点がある。運営組織の強化や体

制改善を図っていく。
問② 子どもの医療費助成制度 について、どの子どもも安心して病院にかかれるように、完全無料化を。
答 一部負担金があることで、安易な受診、過剰な医療を防ぎ、子どものためになっていると考え、完全無料化は考えていない。
問③ 「さくら猫プロジェクト」 の成果と課題は。別府・竹田・日出のように県の制度を使って市も避妊去勢手術への支援を。
答 スタートから2年で、殺処分頭数が4分の1まで減少。県へ更なる取り組みを求める。市の実施は、必要な判断ができるよう調査・研究していく。
問④ 介護保険第9期計画。
 (1) 利用料2割負担、ケア計画の有料化、生活援助サービスの保険外しなどの給付を縮小する大改善はやるよう、国に意見すべきだが。
答 持続的かつ安定的な運営については、全国市長会を通じて提言を行っている。
 (2) 介護保険料は、開始から1.7倍となり、引き下げを。
答 急激な保険料増とならないよう、適切な基金活用に努めていく。

住みよいまちづくりについて



吉田泰秀 (求道会)

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載していきます。詳しくは、各質問者のQRコードまたは議会のホームページからご視聴ください。

問① 漁業関係について。

(1) 燃料高騰や魚価が上がらない中、今後も継続的な支援が必要だと思ふ。燃料費補助などの長期的な支援ができないか。

答 依然として燃油価格が高い水準にあることなども認識している。引き続き燃油価格や魚価の推移などの社会経済情勢を注視していく。

(2) 長洲の港にゴミが入らないための工事の進捗状況は。

答 県に確認したところ、流木対策箇所の測量や基本設計は完了しているものの、既存の防波堤箇所の改修が必要となったため、現時点では未定とのこと。

問② 6月豪雨で被害を受けた長洲小学校南側斜面が崩落してから月日が経過し危険な状況にある。工事に関する状況は。

答 県宇佐土木事務所へ伺った

ところ、広範囲な斜面の安定を図る補強工事を計画し設計中であるが、工事着手については用地買収が必要のため、完成までには時間を要することから、当面の措置として被災箇所の暫定的な安全対策工事を実施する。

問③ 市が管理する屋外スポーツ施設に関して、熱中症対策はどこまでできているのか。

答 平成令和の森スポーツ公園陸上競技場では、地面温度を下げる散水栓を設置しており、空調設備を完備した医务室を開放している。また、熱中症指標計の貸し出しも行っている。総合運動場と平成令和の森スポーツ公園では、大会等を開催する際には、必要に応じてテントの貸し出しを行っている。

問④ 行方不明者などの搜索をする際、ドローンなどの最先端技術を取り入れてはどうか。

答 市消防本部では、1機のドローンを所有し行方不明者等の捜査に活用しているほか、熱画像直視装置やビデオスコープといった最新の消防資機材を導入している。今後も最先端技術等について調査・研究していく。

※その他の質問
・育児休暇・学校給食について。

市費負担の県事業は地方自治法に抵触か？



岡部輝明 (市民連合)

問① 県が実施の「社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業」に対する市の見解について。

(1) この事業に対して、本市が費用負担することになった経緯と法的根拠は。

答 国より交付金を活用するよう通知があり、また県よりは本市はこれに賛同し、協定により費用負担することとした。

(2) 本市が負担しなかつた場合、高齢者・障害福祉施設や認定こども園などは補助対象外となるが、県が県下の施設を公平に扱わないことについて市の見解は。

答 市独自の事業も可能であり、事業実施については市の判断に委ねられているので、その仕組みについては、他の補助事業と同様であると認識している。

(3) この事業の組み立ては問題

であり、他自治体と共同で県に異議を訴えるなど、負担金を返還させる行動を起こしては。

答 現時点で負担金の返還を求めるとは考えていない。

問② 人口の社会動態がプラスに転じた件に関して。

(1) 移住者が昨年度の倍増ペースとのことだが、好調の要因は。

答 住みたい田舎ベストランキングでも高い評価だったように、県下トップクラスの住宅取得支援や子育て世帯に重点をおいた移住支援をはじめ、就農・就職・創業支援、教育や医療、福祉など各世代に切れ目のない施策が実を結んでいると考えている。

(2) 移住支援メニューの強化あるいは見直しする事業はあるか。

答 市移住支援金について「子育て加算」の拡充を考えている。また、休日の移住相談や移住体験ツアーなど取り組みを進める。

問③ 市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入予定時期は。

答 令和6年4月の導入に向け、策定作業を進めている。

※その他の質問
・市外国人総合相談センターの課題について。
・認知症基本法に関して。

脱炭素社会とグリーンインフラの実現



和氣伸哉（求道会）

問① 宇佐駅のリニューアルについて、駅利用者や地域の声はしっかりと反映されているか。

答 今後、プロジェクト会議において、いただいた意見を踏まえ、観光客だけでなく地域に住んでいる方、誰もが過ごしやすい空間づくりに向けたデザインを目指して協議していく。

問② 道の駅うさ（仮称）の今後のスケジュールは。

答 国による防災倉庫部分の嵩上げ工事が追加されたことや基本計画の見直しに伴い、変更が生じる可能性が高い状況となっている。新たな計画がまとまり次第、速やかに報告する。

問③ ごみの減量化・資源化の3Rについて本市の取り組みは。

答 リデュース、リユース、リサイクルで多くの取り組みを継続しており、今後も資源循環型

社会の構築に向けていく。

問④ 行政手続きのオンライン化の導入状況は。

答 本年5月に県が設置した「市町村行政DX推進会議」の中で「行政手続きの電子化の拡大」の取り組みを協議している。

問⑤ 本市の脱炭素化の取り組みは。

答 本庁舎をはじめ各種施設において太陽光発電やLED照明、電気自動車および充電設備などの導入のほか、本市の二酸化炭素排出量は2013年度の142万トンから2020年度には約103万トンに減少しており、約27%削減されている。

問⑥ 中学校部活動の地域移行で総合型クラブとの協議内容は。

答 今年度、剣道、ソフトボール、バドミントンを地域クラブとして認知した。今後も、どの部活動が地域移行できるか検討委員会にて協議していく。

問⑦ 三和酒類スポーツセンター体育館の雨漏り対策について修繕計画は。

答 以前から利用者や管理者等から改善要望を受けており、雨漏り修繕に係る補正予算を今議会に提出した。

市政一般に対する質問

「地方創生」今こそ人材の活用と育成を



河野洋一（心政会）

問① 市道新貝谷線の道路改良は、事業採択後、実施に至っていない。この沿線はブドウ栽培が好調なことから、後継者が増え活力のある地域。緊急車両、大型車両の通行も多い。早期の拡幅が必要だが、今後の計画は。

答 まずは、田ノ口集落から中山集落入口の落石対策工事を進める。次に、そこから先の拡幅工事を計画的に行っていく。

問② 路面標示が消えた箇所が見受けられる。安全面から整備が必要だが、取り組み状況は。

答 通学路安全点検や地区要望など緊急性の高い箇所から実施している。市道に限らず要望があれば調査・対応していく。

問③ 家庭菜園用マルチシートを不法に自家焼却するなどの廃棄が多いと聞く。家庭ごみ収集や粗大ごみ回収をすべきでは。

答 現状では困難と考えるが、他市の状況を調査・研究する。

問④ 設立された地域商社を発展拡大させていくためには、商社機能をプロデュースできる外部人材を含めた専門人材の活用・育成が急務だが、今後の人材確保と業務計画は。

答 商工団体等との連携や業務提携を図るとともに、全体を把握できるようなアドバイザーや専門家などの人的ネットワークを使って、継続的な経営を確立していく。今後は、ふるさと納税事務の受託や産直市場の経営のような核となる事業の構築を目指していきたい。

問⑤ 地方分権の進展に伴い、政策形成能力のある職員の育成が求められている。職員研修に対する市の見解と方向性は。併せて、人事評価制度に対する現状と方針について伺う。

答 高度化・多様化する行政ニーズに対応するには、職員の資質や能力の向上が不可欠。討議・演習を中心とする参画型研修や政策形成能力向上研修を実施していく。人事評価については、公正・公平な評価方法を調査・研究中。来年度から新たな評価方法を導入する方向である。

新医師会病院の建設はインフラ整備



河野健治朗 (心風会)

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載していますが、詳しくは各質問者のQRコードまたは議会のホームページから視聴ください。

問① 宇佐高田医師会病院の新病院建設について。

(1) 建設予定地として、グリーンパークホテルうさを含む市有財産の無償貸付が承認されて1年が経過したが、進捗状況は。

答 宇佐市医師会と(株)グリーンパークホテルうさとの売買契約後になるので、現時点では無償貸付契約は行っていない。

(2) 医師会病院が担う公益性の高い医療を継続的に提供できるよう支援を検討できないか。

答 地域医療で不足が見込まれ、必要とされる診療を提供することや、宇佐高田地域成人病検診センターでのがん検診や健康診査の体制強化など、地域医療体制を維持、充実させることは、有益かつ必要なことと考えており、公的役割に応じた支援が必要であると認識している。

問② 介護・福祉従事者の人材不足解消に向けた取り組みについて。

(1) 介護人材確保支援事業による現在までの成果は。

答 就職奨励金については、毎年10名から15名の申請があるが、勤続3年の報奨金の申請については、昨年度1名、本年度6名にとどまっており、離職率の高さが課題となっている。補助制度だけでなく、選ばれる職業としての魅力発信などの取り組みも必要と認識しており、高校卒業後の進路状況や求められる雇用条件など、多角的に調査を実施し、人材不足解消へのアプローチを進めていく。

(2) 福祉サービスの人材確保を目的とした補助事業や人材育成事業の計画はあるか。

答 福祉サービス事業所への調査によると、採用募集をしても応募がなく人材確保に苦慮しており、加えて職員の高齢化により安定した事業運営を継続していくことが課題であるとの意見があった。自立支援協議会においても、人材不足・定着は喫緊の課題であると意見があり、今後どのような支援ができるか調査・研究に努める。

地域と暮らしを守り、未来を創る



辛島光司 (求道会)

問① 通学路について。

(1) 通学路交通安全プログラムに沿って、要望箇所の集約方法と集約状況は。

答 各小中学校からの要望を集約し、国・県・市・警察等の関係各所と協議を行っている。令和4年度の要望数は20カ所。これまでの累計で129カ所。

(2) 江須賀踏切から柳ヶ浦小までの市道江須賀中央線の歩道設置計画の進捗状況は。

答 750m区間の整備で、これまで測量と設計が完了。令和6年度は用地の鑑定・買収を行う予定。

問② 宇佐平野の「米」を子どもたちにたくさん食べてもらうことを目的に、子育て支援として米の現物支給を検討しては。また、働くお母さん支援として、高校生のデリバリー弁当の半額

補助を検討しては。

答 今後の子どもたちへの食育や多くの人に宇佐産米を食していたくために、農政課と子育て支援課で調査・研究していく。

問③ スポーツ振興について。

(1) 各スポーツ大会時の飲食確保を大会関係者は大変苦慮している。市の対応は。

答 他市の事例などを参考に、調査・研究する。

(2) メジャーリーグ大谷翔平選手が各小学校にグローブを寄贈する。市内各校の対応は。

答 できる限り多くの子どもたちが使えるよう、学校の事情に応じ、休み時間や授業等で活用していく。

問④ スポットビジョンスクリーナーの活用状況は。

答 令和4年度は、353人の受診者に対して、27人が要治療であった。導入前の令和元年度と比較すると、要精密者・要治療の割合ともに高くなっている。また、要精密者の半数以上が治療を開始し、早期発見につながっている。

※その他の質問

・JR柳ヶ浦駅舎入口と駐輪場の雨対策について。

子育て支援とは？



秀平信介（政友会）

- 問① 公共施設トイレについて。**
(1) 子ども連れが訪れる施設には子ども用のトイレを設置できないか。
答 既存の施設に、新しく子ども用トイレを設置することは現状では困難。
(2) 西大堀に建設中の新しい公園には設置できないか。
答 計画がない。子ども用には補助便座で対応したい。
(3) 市として、子育てに力を入れているならば設置してもいいのではないか。
答 一般トイレの減になるので、子ども専用トイレを作るのは難しい。
問② 市内の道路について。
(1) さんさん館とシルバー人材センターの間の道は市道であるが、市民にはあまり認知されていないようだ。市道だと明確にわかるようにできないか。
答 市道では、主要な路線を除き、身近な生活道に道路標識等の設置は行っていない。
(2) 市道柳ヶ浦中央線が拡幅されたが、柳ヶ浦高校前から駅に向かつては街灯が少なく日没後は非常に危険。安全対策は。
答 防犯灯7つ、みまもり灯を2灯設置した。今後必要となる箇所は地域および関係機関と協議していく。
問③ 要望書等の扱いについて。
提出された要望書は、受付印を捺して控えを渡してはどうか。
答 統一した定めはないが、個別の内容に応じて対応している。
問④ 駅川中学校の体育館の照明が暗くて運動しにくいと聞く。実態はどうか。
答 整備不良が3灯あり交換済。
問⑤ 市民の情報提供について。
市の公式ラインに道路の損傷以外にも比較的軽微な情報を行政に伝える機能は増やせないか。
答 市へのご意見ボタンで対応が可能と考えるが、他市の事例も参考にさらなる活用を図る。
※その他の質問
 ・公印の管理について。
 ・学校と地域の交流について。
 ・公共工事の入札不調について。

子どもたちへ豊かな学びの場を



水脇純一（市民連合）

- 問① 部活動の地域移行は。トは。**
(1) 部活動の地域移行のメリツトは。
答 幅広い活動の場や専門性のある指導が提供できる。
(2) 本市開催の部活動検討委員会の進捗状況は。
答 3団体を地域クラブと認知した。受け皿団体や指導者の確保が課題である。
(3) 部活動の地域移行を推進していくコーディネーターの配置ができないか。
答 コーディネーターの必要性を認識し、県への人的支援体制の整備を要望した。
問② 校舎改修・増築について、西部中の校舎改修と豊川小の校舎増築の進捗状況は。
答 両校とも令和6年度末完成に向け、計画通りに進んでいる。
問③ マイナンバーカードにつ
(1) 現在の登録者数と更新時期は、どうなっているのか。
答 10月末で71.3%、有効な保有枚数は、3万8045枚である。令和2年度から更新手続きが始まっている。
(2) 四日市、長洲出張所では、申請や更新の手続きができません。高齢者の方などが困っていると聞く。対策と改善は。
答 休日や夜間の臨時開庁、公民館や高齢者宅への出張申請交付を行ってきた。令和8年に向けて環境づくりに努める。
問④ 柚子農家の支援について。
(1) 院内町の柚子は、生産者の高齢化や生産量の減少など課題を抱えている。この状況をどう捉えているのか。
答 植栽事業を支援し、産地の拡大、雇用の創出、担い手づくりに努めていく。
(2) 数力所の柚子団地では、法面等の崩壊が起きている。改修への補助金などの支援は。
答 県や市の補助があり、農家負担は県営事業費で7.5%、市営事業費で10%である。
※その他の質問
 ・改修や増築に伴う学校現場の困りや要望への対応について。

本市の子育て・教育を問う



園田 経人 (民政会)

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載していますが、詳しくは、各質問者のQRコードまたは議会のホームページからご視聴ください。

問① 子育て支援について。

(1) 現在市内に1カ所しかない病児・病後保育事業を2カ所所で実施する協議の進捗状況は。

答 現在設立に向けて具体的なところまで関係機関と協議を行っている。

(2) 小児科医の少ない本市では診察までかなりの時間を要し、複数人の子連れでの受診は大変厳しい。オンライン診療の推進はできないか。

答 医療へのアクセスが向上する反面、得られる情報が少なく安全性・必要性・有効性の観点から課題も。今後も国・県の動向を含め、調査・研究に努める。

(3) 夏休みや冬休み期間の児童クラブに有料の給食を導入して保護者のお弁当の負担を軽減できないか。

答 子ども家庭庁から本年5月

に食事提供の事例集が発出され、取り組みなどが紹介されていることから、先進地の状況を調査・研究していく。

(4) 移住推進の核に子育て支援をうたっているが、実際に移住してきた子育て世代に対して聞き込み調査は行っているのか。

答 移住者アンケートは実施しているが、子育て世代に限定した調査はしていない。今後の調査においては世代別の設問を用意するなど状況把握に努める。

問② 小学校教育について。

(1) 英語教育やプログラミング教育の導入で授業数も教師の負担も増えるがその対策は。

答 時間を可能な限り確保するために、校務の効率化など業務改善の取り組みを行っている。

(2) 学級閉鎖時にICTは活用されたのか。

答 学校・学級の閉鎖時も想定し、タブレット端末を活用した自主学习等、各学校の状況に応じて積極的な活用を進めていく。

※その他の質問

・天津海岸への宮熊沖爆撃標的の説明看板設置について。

・本市の住民税非課税世帯の割合が全国平均よりも多いことについて。

より一層の選択と集中を



中本 毅 (令和新政会)

問① 財政の現状と今後の方針は。

答 昨年度の決算は、前年度と比較すると歳入歳出とも減額となっている。歳入から歳出を差し引いた形式収支から翌年度に繰越すべき財源を控除した実質収支は16億4000万円の黒字で、単年度収支も2億5000万円の黒字となっている。一方、財政調整基金への積立・取崩しなどを差し引いた実質単年度収支は5億8000万円の赤字となっている。

また、基金全体では、合併特例債を活用し造成した地域振興基金、子ども子育て応援基金などの活用により、企業誘致支援費ややすく子育て祝金事業などの財源確保を行ったことから、基金現在高は約120億円、11億5000万円の減少となっている。

いる。

なお、財政調整基金は、条例に基づく決算積立もあり、33億2000万円を確保しており、議員ご指摘の通り、市の標準財政規模の2割程度という高い水準を維持している。

次に、経常収支比率だが、歳出経常一般財源は物価高騰緊急支援対策による扶助費が増加したものの、人件費などの減により全体が減少した。一方、歳入経常一般財源は地方交付税、臨時財政対策債の減少、いわゆる実質交付税が、前年度比較で8億2000万円と大きく減少している。そのため、経常収支比率は対前年度比3.3%増の94.7%となったが、県全体でも本市と同様の傾向となっている。今後の方針については、宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設および隣接地に一体的に整備する都市公園、西部中学校長寿命化改修、国道沿線複合施設などの整備や、社会保障関連経費などの増加が見込まれる。持続可能な財政運営を堅持するため、重点的に実施すべき施策を選択するなど、より一層の選択と集中を進めていく。

県道27号(耶馬溪院内線)の早期整備を



河野睦夫 (政友会)

- 問① 有害鳥獣対策について。
- (1) 防護柵の設置状況は。地区からの要望に答えられているか。
- 答 令和4年度までの総延長は、429キロ。今年度も33キロ設置の予定で地元からの要望に添えている。
- (2) 捕獲員登録者の現状は。
- 答 今年度の捕獲員の登録者数は、157名で昨年に比べ11名の減となっている。
- (3) 鳥獣被害で農地の畦畔が崩れたり、農道や水路が壊れるなどの被害に対して、復旧支援はできないか。
- 答 鳥獣被害については農地や農業用施設復旧に対する国の助成制度はない。多面的機能支払交付金や中山間地域直接支払制度等を活用していただきたい。
- 問② 県道27号(耶馬溪院内線)の改良工事について。
- (1) 改良工事の進捗状況と今後の見通しは。
- 答 県によると、大門の八坂神社付近より月俣龍森橋までを計画しており、今年度は道路設計に着手している。
- (2) 未整備区間である景平地区は、危険性も高いためガードレールや注意喚起の看板等の設置が必要と考えるが対応は。
- 答 県によると、交通安全施設は利用状況に応じて設置しているが、地域からの要望があれば調査の上対応すること。
- 問③ 学校給食の充実について。
- (1) 献立は、小学生、中学生に見合った内容となっているのか。
- 答 成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、学校給食摂取基準を満たした献立となっている。
- (2) 学校給食における「地産地消」の現状は。
- 答 毎月1回〜2回地元の食材を使用した「ふるさと給食」の日を設定し給食の提供を行っている。
- ※その他の質問
- ・公立保育園の老朽化対策。
 - ・自転車利用者のヘルメット着用
- の推進について。

市政各種計画と市民への関わり



衛藤義弘 (公明党)

- 問① 第二次総合計画について。
- (1) 宇佐市八策には「生命と財産を守る」とある。温暖化で線状降水帯が発生し甚大な被害が発生した。今後、事前に広報やSNSでの注意喚起を毎年行う必要があるのではないか。
- 答 個別対応やSNS・防災無線・市の公式アプリで対応。
- (2) 地方自治法改正で基本構想の策定が廃止された。自主性の尊重と創意工夫が必要では。
- 答 他の自治体を調査・研究し一番良い施策を見出していく。
- 問② 学校施設長寿命化計画について、児童・生徒の減少に伴い、施設の維持管理、適正化、再利用など、今後どのように考えていくのか。
- 答 今後どうあるべきか、学校・地域・教育委員会全体で考えて行く必要がある。
- 問③ 0歳〜2歳児の第1子(住民税課税世帯)保育料を6カ月間免除した。今後引き続き全額か一部か含め支援の可能性について問う。
- 答 免除額は地方創生臨時交付金等を活用。年間約6700万円の一財源が必要。来年度予算編成の中で検討していく。
- 問④ 他市の事例を参考に本市とハローワークとの職場見学会を共同開催できないか。
- 答 ハローワークと効果的な開催について協議していきたい。
- 問⑤ 高齢化した地域の除草に環境問題や除草作業中の事故防止の観点から、ヤギ代行システムの導入を後押しできないか。
- 答 企業の管理地や急傾斜地で活用され、騒音を出さない、癒される、草の処分が不要など利点がある一方、事業の採算性、食害などの課題もある。有効性について調査・研究する。
- 問⑥ 地域の生活交通(バス・タクシー)の乗務員の確保について、検討しているか。
- 答 国や県、学識経験者からなる「市地域公共交通会議」で検討。市として事業者連絡会議で意見交換し対策を講じる。

毎年の豪雨で災害復旧事業の地元負担が重い



赤野道和（日本共産党）

問① 避難所環境整備について。
 (1) 小学校区単位となる25カ所の避難所に、毛布の備蓄はできないか。
 答 毛布代わりとなる防寒保温アルミシートを5枚配置する。
 (2) 避難所に対応する市職員への研修・訓練などは、どのようにされているのか。
 答 毎年出水期前に、担当職員を対象に研修を行っている。
 問② 本市では、自衛隊に対して18歳になる人の氏名・住所などの名簿を紙媒体で提供している。この名簿提供は、公務における個人情報保護の原則に違反するなどの理由でやめるべきではないか。
 答 令和3年2月の総務省、防衛省の連名通知などから、適法な事務行為であると考えている。ただし、希望する者には紙媒体

の名簿から除外する「除外申請制度」について、今年度検討し、来年度から実施する。

問③ 宇佐市農業の今後の発展にむけて。

(1) 国は食料・農業・農村基本法を見直しているが、「価格保証と直接支払制度で農業と農地を守る」という政策の基本を、国に訴えていくべきではないか。
 答 国の動向を注視していく。
 (2) 農地や農業用施設の災害復旧事業の地元負担を軽減できないものか。
 答 国庫補助金の対象となる災害については、今後も補助率増高申請を行うことで受益者負担の軽減を図っていきたい。

問④ 会計年度任用職員制度の改善を。
 (1) 時給を1500円以上に引き上げることではないか。
 答 正規職員の給料表に準じて条例で定めており、困難である。
 (2) 来年度から支給される勤勉手当について、年収ベースの賃金増加につながるものではないか。
 答 追加議案が可決されれば、年収ベースで賃金が増加する。

※その他の質問
 ・避難所の体育館へ空調設備を。

地域づくり協議会指定のふるさと納税について



川谷正一（求道会）

問① ふるさと納税について。
 (1) 過去3年間の推移は。
 答 本市へのふるさと応援寄附金、ふるさと納税は、令和2年度が約2億6700万円、令和3年度が約4億7200万円、令和4年度が約6億800万円と年々拡大している。
 (2) 10月から経費の取り扱い等、ふるさと納税のルール改正があったが、本市における対応と納税額の影響は。
 答 法改正により募集に要する費用について、寄附金受領証の発行などの付随費用も含めることで返礼品に対する寄附金額が改正前と比較して高くなっていく。本市においては本年4月より寄附金額の見直し、改定を行っていたので、改正に伴う大幅な対応は行っていない。なお、本年度の寄附金額は、11月末

時点で4億7000万円を超えており、前年同期比117%となっている。

(3) 市全体のふるさと納税に占める「まちづくり協議会」指定の納税額は。
 答 昨年度のまちづくり協議会への支援を指定された寄附金額は、2250万円で全体の3.7%となっている。

(4) 自主財源の乏しい「まちづくり協議会」にとって、ふるさと納税は非常に大きな財源である。納税額が指定された「まちづくり協議会」へ経費等を差し引くことなく全額交付される仕組みは今後も変わらないのか。
 答 ふるさと応援寄附金の受け入れには、返礼品代など、寄附金額の約50%が必要な経費となっている。各協議会は自主財源の確保のために、市外の地区出身者などにふるさと応援寄附金を通じて協議会の支援をお願いしている。そのため指定された協議会へ「ふるさと応援寄附金活用事業」として寄附金額から経費を除かず全額を翌年度に交付しており、当面の変更は考

※その他の質問
 ・緊急車両について。

誰もが安心して暮らせるために



川谷光紹 (求道会)

問① 地域のために。

(1) 地域消費喚起プレミアム商品券支援事業によって、消費者も商工業者も非常に恩恵を受けている。しかし、小規模の小売店では、電子マネーが普及する中でプレミアム商品券の換金に時間がかかり、現金が流通しないため、短期の資金繰りに困ると聞く。資金繰りの支援策は。

答 現時点では事業者に対する支援策はないが、負担が軽減されるように商工団体と協議する。現在、市では創業者の融資利子の補助制度を設けており、県では新型コロナウイルス感染症対策特別資金が継続して設けられているので活用して欲しい。

(2) 7月豪雨での被災者に対して、被災者住宅再建支援事業および被災地域事業継続支援事業を設けたが、周知が不十分で知

らない被災者が多かったように思う。申請期限を延長できないか。

答 罹災証明書の有効期限が6カ月なので、令和6年1月11日まで申請期間が延長できるように検討したい。

問② 子どもたちのために。

地域の子どもを地域で育てるといふ理念のもと、本市では保育・教育が行われている。地域での子育てを支援していくために、放課後児童クラブは重要な役割を果たしている。他市では指定管理に移行し民間企業の運営も増えたが、利益優先の民間企業では保育料や支援員の処遇、児童の遊びの環境などでの課題が多い。現在の地域による運営委員会方式を維持していくために、社会保険労務士や税理士、弁護士などに相談しやすい支援を検討できないか。

答 市内には25カ所の児童クラブがあり、社会福祉法人等に5カ所、運営委員会に20カ所を委託している。運営委員会の児童クラブでは、人員確保が厳しく会計事務に負担を感じているクラブがある。他市の状況等を調査・研究し、市として支援をしていきたい。

決算特別委員会を開催しました

令和5年11月6・7日にかけて、決算特別委員会を議事堂会議室で開催し、令和4年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の審査を行いました。

審査の結果、賛成多数で原案の通り認定しました。

委員会の構成(14名)

◎委員長 ○副委員長

◎赤野 道和
○岡部 輝明

多田 羅純一

川谷 正一

吉田 泰秀

秀平 信介

大隈 尚人

辛島 光司

今石 靖代

水脇 純一

和氣 伸哉

河野 洋一

園田 経人

川谷 光紹



令和4年度一般会計決算の概要

歳入総額	348億2461万円
歳出総額	327億7257万円
形式収支	20億5204万円
翌年度繰越金	4億1018万円
実質収支	16億4186万円
財政調整基金残高	33億2743万円

編集後記



令和6年は、地震災害など、かつてない激動のスタートとなりました。日本経済は上昇傾向にあると言われる中、地方では実感がありません。各議員が行う一般質問においても、地域活性化・市民生活・教育・福祉などの内容がありますが、全てにおいてマンパワー不足に対する課題解決を問うことが多くあります。今後も本紙を通じて、市民の皆様と共に考え、行動できる市議会となるよう情報提供してまいります。

(河野 健治朗)

《3月定例会の予定》

- 2/20 (開会日) 提案理由の説明
予算特別委員会①
- 2/21 一般質問
- 2/27・28 29・3/1 議案質疑
- 3/5 予算特別委員会②③
- 3/7・8 常任委員会の審査
(総務・文教福祉)
- 3/12 常任委員会の審査
(産業建設)
- 3/13 (閉会日) 委員会の審査報告
質疑、討論、採決

新年のごあいさつ



議長
永松 郁

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新たな希望と期待に満ち溢れた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も市議会は、昨年4月の改選から新たな21人の体制でスタートしました。さらなる開かれた議会をめざし、議会改革に取り組んでまいりたいと考えております。また、子育て支援のさらなる拡充や地域の魅力を活かした観光振興、災害に強いまちづくり、ごみ焼却場建設など、さまざまな課題に真摯に取り組む、議決機関としての役割と責任を自覚し、市政のさらなる発展と安全で安心な暮らし魅力あるまちづくりの実現に向けて、議員一同、日々邁進する所存でございます。今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



副議長
多田 羅 純一

新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

初心を忘れず「三現主義」で夢をかたちにできるよう市政発展に尽くしてまいります。本年もご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



秀平 信介

本年も無事名馬の精神で頑張っております。また、皆様の暮らしが健やかでありますように祈念いたします。



園田 経人

子連れリターン議員の視点で見違えられがちな宇佐の魅力と課題に切り込み、日本一住みよい田舎を目指します。



川谷 正一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。地域のために誠心誠意努力してまいります。本年もよろしくお願いたします。



水脇 純一

市議二年目を迎える年。しっかりと市民の皆様の声を行政へ伝え、平和で住みやすい宇佐市に向け頑張ります。



河野 洋一

親身にスピーディに「地域のお役に立てる身近な議員」となるよう精進いたします。



岡部 輝明

天高く昇る龍に守られる辰年。人口減少時代に果敢に立ち向かい、活力と魅力あふれる宇佐を目指しましょう。



河野 健治朗

かつてない変化を前に、新時代を生きていく皆様の人生にあわせた未来づくりを貢献できるよう努めます。



吉田 泰秀

常に初心を忘れず、感謝を忘れず、市民の皆様が誇れる宇佐市を目指して誠心誠意今年も努めてまいります。



赤野 道和

これからも、市民のみなさんの要求実現のために、「誠実にねばり強く」取り組んでいきます。



中本 毅

私たち市民が「満足度日本一のまちづくり」を継承し、発展させ、「ワールドクラスの宇佐」を実現しましょう。



川谷 光紹

人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人。それが人間にとって一番たいせつなことだと思っております。



和気 伸哉

積み上げてきたものを活かす2024年、更なる進化を目指して市政発展に力を尽くします。



河野 睦夫

「飛電乗雲（ひりゅうじょううん）」辰のように力強く昇っていきける年になるように、精一杯頑張りたいと思います。



衛藤 義弘

皆様方にとって、幸福と尊厳・希望輝く年になりますように。一人の声を大事に議員活動に邁進いたします。



辛島 光司

旧年中は大変お世話になりました。ふるさとを照らす「ひとすじの光り」となりますよう努めてまいります。



今石 靖代

戦争のための増税は大反対。農林漁業・地域経済・福祉の充実こそ大切に。市政を目指して一緒に頑張ります。



大隈 尚人

謹賀新年。甲辰の年。努力の年。皆様の声を聞き、中山間地域を生かすまちづくりに努力してまいります。



中村 明美

ご支援いただき感謝。世代間ギャップを痛感した年でしたが、心機一転、笑門来福で新年に臨みます。



衛藤 博幸

多くの活動生活に変化を与えたコロナの禍。人とのコミュニケーションの大切さは身にしみた。今年も頑張ろう。

能登半島地震で被災された皆様にご挨拶とお見舞い申し上げます。
全議員で義援金20万円を送ることにいたしました。

編集／議会活性化特別委員会